

# 平成31（令和元）年度 守る会の活動方針

令和3年に設立50周年を迎える守る会。足かけ3年後の半世紀の節目にむけ、これまでの先人先輩方のご尽力に感謝しつつ、着実に未来につなぐ3年間にしなければと強く感じています。また5月には、国際茅葺会議日本大会が白川郷を会場に開催されます。これらの行事に主体的に参画するとともに、昨年同様のスローガンを掲げ、景観保全・結の根ざした生活・後継者育成にむけ、地に足を着けた取り組みを進めたいと考えています。区民会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ ～

- ① 守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ② くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③ つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

### 1. 組織の強化と各種団体との連携

- ・各組・各種団体選出の委員が代表者として責任を持ち、組・団体内への定例会の報告や意見要望を把握し、区民全体の守る会となるよう努めます。
- ・現状変更申請に関わる審議を適正に行い、景観保全にむけた充実した話し合いを進めます。
- ・各種団体との連携を密にし、「世界遺産マスタープラン」の具現化にむけた取り組みを行います。

### 2. 「守る」に関わる重点活動

- ◎ カヤの自給率向上を目指すべく、教育委員会・日本ナショナルトラストの支援を得ながら、第4回秋の茅刈りイベントの継続と住民の参加率向上に努めます。
- ◎ 将来的に保存が困難となりうる合掌家屋や板葺・小屋の実態調査を進めると共に、その保存と活用にむけた話し合いに取り組みます。
  - ・仮設を含めた店舗の景観、休耕地の復原や農地の保全にむけて、営業者・住民との話し合いや合掌財団等の協力を得ながら、世界遺産に相応しい農村集落の維持改善に努めます。
  - ・休耕地の草刈りやオオハンゴンソウ・オオキンケイギクの除去に取り組みます。
  - ・トタン屋根塗料補助やオダシの助成、センガ岩倉庫の活用に継続して取り組みます。

### 3. 「くらす」に関わる重点活動

- ◎ 結のもつ意義（住民の絆・屋根葺き技術の継承）の上に立ち、合掌家屋保存組合と共働して結による屋根葺きの奨励に努めます。
- ◎ 空き家対策を見据え、保存の三原則「売らない・貸さない・壊さない」の「貸さない」についての議論を深めます。
  - ・舗装に替わる土凝固剤の使用や土面露出の景観について、継続して取り組みます。
  - ・荻町交通対策委員会と連携し、世界遺産の景観と住民の安全な生活の観点から話し合いに参画し、世界遺産にふさわしい観光車両の誘導（自主規制）に取り組みます。
  - ・センガ岩倉庫の老朽化にともない、代替施設の要望を進めます。

### 4. 「つなぐ」に関わる重点活動

- ◎ 国際茅葺会議に主体的に参画するとともに、守る会設立50周年記念事業の準備を進めます。
- ◎ 白川郷学園「村民学（ふるさと学習）」の取り組みを、積極的に支援します。
  - ・寺口家の活用や会報紙ねそを有効活用し、女性や若者の参画につなげます。
  - ・全国の連携協力関係にある諸団体の行事等に積極的に参加し、荻町住民及び守る会の保存活動をPRするとともに、荻町住民のさらなる活動への理解・認識の向上に努めます。
  - ・会報紙ねそやホームページ、SNS等を最大限に活用し、守る会の活動状況や景観保全の重要性を内外に広く発信します。